

島外の医療機関受診時の

お金がたいへん

安心して病院にも行けない

交通費・宿泊費補助を 実現させましょう

「東京で診てもらって下さい」と言われるとお金のことが頭に浮かぶ。命にかえることはできないから行くしかないが、それだけで家計が成り立たなくなってしまう。借金する人もいますと聞いた。

日本共産党三宅支部に寄せられた声から

緊急時には必ず島嶼会館に泊まれるようにしてほしい。付き添いの人への補助も。宿代の負担も大きいので。

日本共産党三宅支部の村民アンケートから

実現まであと一歩

三宅村議会議員

平川大作は がんばります

島外の病院に通院する際の交通費や宿泊費の負担はあまりに重すぎます。

私は村議会で繰り返しこの問題を取りあげてきました。村としての検討も始まり、最近の議会では村長から「よほどのことがない限り実現はできるかとは思いますが」との答弁もいただきました。

実現まであと一歩です。ぜひ、やり遂げさせてください。

他の島のように三宅でも

大島	交通費4000円、宿泊費3000円、回数制限なし(町予算の限度内)
利島	一律7000円、年6回
新島	交通費・宿泊費各4000円、年4回(年齢制限あり)
神津島	交通費片道2000円、宿泊費3000円、年10回

日本共産党島嶼議員団調べ



2020年1・2月号外
日本共産党三宅支部
電話/FAX 6-0132

日本共産党・平川大作議員の政策と活動を紹介します。



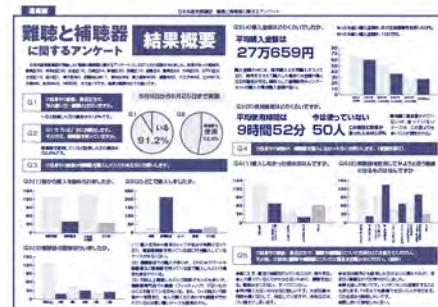
日本共産党

**補聴器の購入費助成
実現にも取り組みます**

65歳以上の半数に難聴症状があると推定されています。人の話が聞き取れなくなると、仕事に支障が出るだけでなく、周囲とのコミュニケーションがとりにくくなります。

難聴が引き金となって、認知症やうつを発症を招くこともある
そうです。正しく調節された補聴器を使えば難聴は改善され、都
議会では「早期からの使用は、日常生活の質の向上を図る上で
有効と認識しています」という答弁もありました。

しかし、補聴器は非常に高価です。都内の一部の自治体では始まっていますが、三宅でも購入費助成が実現するよう力を尽くします。さらに党都議団と力を合わせ、東京都全体の制度になるように迫っていきます。



詳しくは日本共産党東京都議団のホームページで

日本共産党はスジの通ったまともな政治をつくるためにがんばります

通常国会が始まりました。安倍首相はみずから直結する疑惑の数々に一切答えず、都合のよい数字だけを並べて成果を誇る、偽りとごまかしの姿勢に終始しています。日本共産党はこんな政権に一日も早く終わらせ、スジの通ったまともな政治をつくるために、他の野党とも力を合わせてがんばります。

「桜」疑惑・カジノ汚職

税金を使ってみずからの後援会関係者を接待した「桜を見る会」疑惑、自分が任命した担当副大臣が贈収賄容疑で逮捕されたカジノ汚職。徹底して追及します。

社会保障負担おしつけ

国民の暮らしは消費税増税で痛めつけられています。そんなときに高齢者の医療費窓口負担を2割にすることが狙われています。こんなことは許せません。

憲法改悪ごりおし

安倍首相は、オリンピック・パラリンピックを憲法改悪に結びつけるという異常な執念を見せました。国民が望んでいない改憲をキッパリ諦めさせましょう。

日本共産党の「しんぶん赤旗」をお読みください

日刊紙 月 3497円
日曜版 月 930円